

 木次線の魅力をご紹介 

次へのバトン、木次線。

RAIL is BATON.



木次線利活用推進協議会
(雲南市観光振興課)

本日の内容

1. 沿線を彩るラッピング列車
2. 観光列車「あめつち」乗り入れ
3. 各種補助制度のご紹介





1. 沿線を彩るラッピング列車

次へのつぎ、木次線。

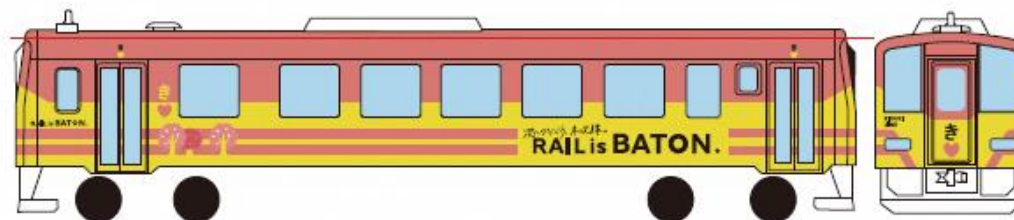
RAIL is BATON.

全国から公募したアイデアをもとに、沿線が誇る観光資源を色で表現し、「きすきいろ」とのツートンカラーにラッピング



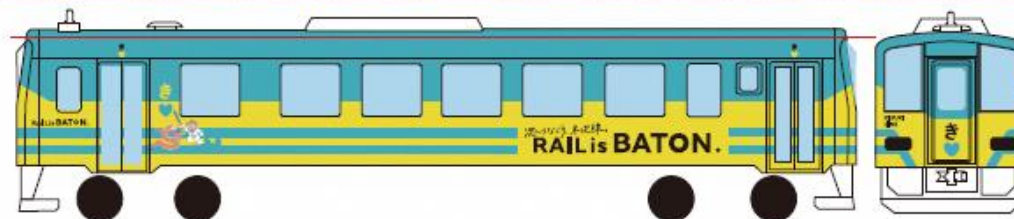
桜につながる
木次線

The Rail is a Baton to Sakura.



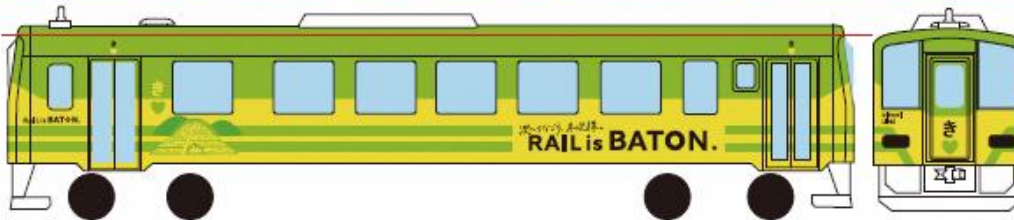
神話につながる
木次線

The Rail is a Baton to Shinwa.



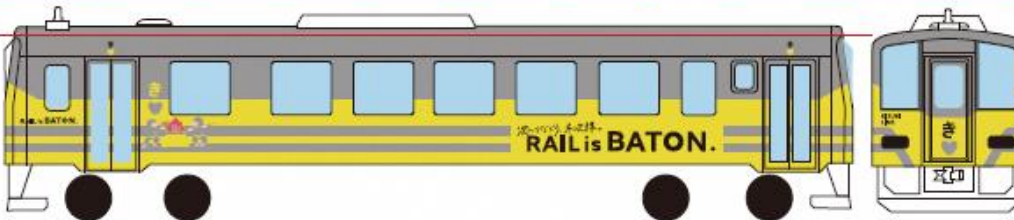
棚田につながる
木次線

The Rail is a Baton to Tanada.



たたらにつながる
木次線

The Rail is a Baton to Tatarafest.





さくら



桜につながる
木次線

The Rail is a Baton to Sakura.

しんわ



神話につながる
木次線

The Rail is a Baton to Shinwa.





たなだ



棚田につながる 木次線

The Rail is a Baton to Tanada.



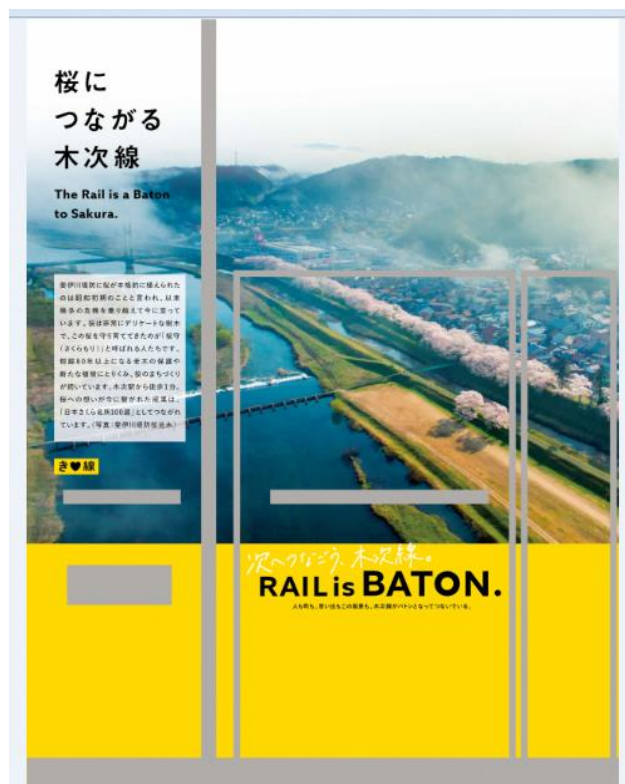
たたら



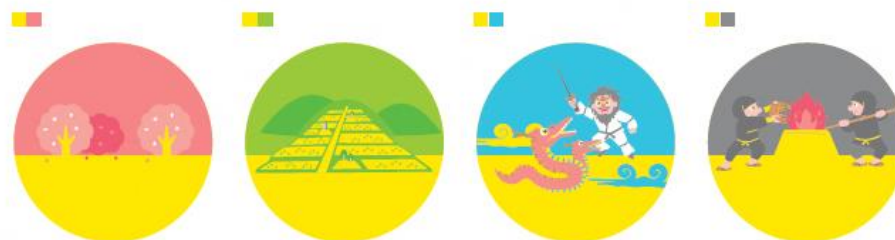
たたらにつながる 木次線

The Rail is a Baton to Tataru.

外装テーマに合わせて、内装も工夫されており
乗る人、見る人、撮る人、誰もが楽しんでいただけます！



トイレ壁面（テーマ別）



貼付順イメージ



天井側面



2. 観光列車「あめつち」乗り入れ

次へのつぎ、木次線。

RAIL is BATON.

2024年度から 観光列車「あめつち」が木次線を走ります



写真:あめつちパンフレットより

2両編成で全席指定。乗車定員59名。
ゆったり座れる静かな列車内で、車窓からは沿線の広大な自然や四季折々の
ふるさとの風景をゆっくり楽しんでいただけます。



高級感あふれるゆったりした車内



地元を代表する工芸品



沿線地域の食材をふんだんに使った
特製弁当（※要予約）



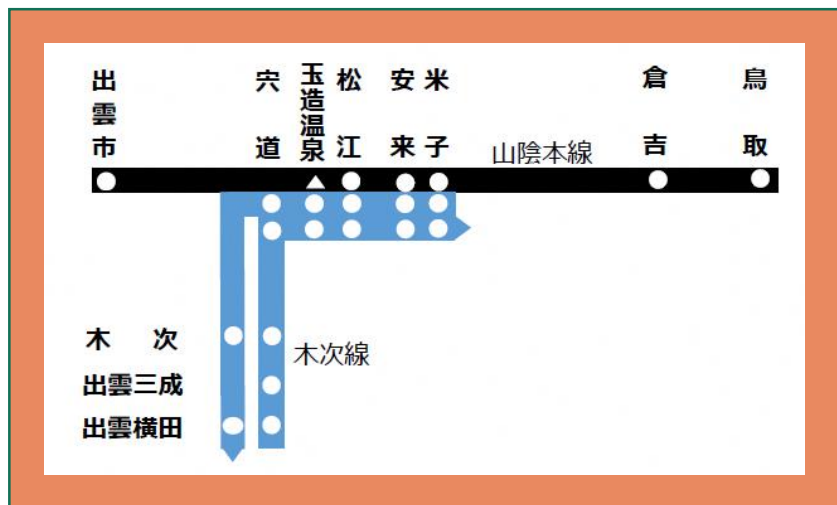
- 物販カウンターでの地元特産品販売
 - 地元ガイドによる観光案内 など
- ※いずれも調整中



2024年度 観光列車「あめつち」木次線運行概要

春、秋の行楽シーズンを中心に、主に日・月曜運転（年間30～40日を想定）

※日・月曜：木次線（米子～出雲横田、出雲横田～米子）



<下り>

	停車駅	時刻
山陰本線	米子	8:15頃
	安来	8:30頃
	松江	9:00頃●
	玉造温泉	9:15頃
木次線	穴道	9:30頃
	木次	10:15頃●
	出雲横田	11:30頃

<上り>

	停車駅	時刻
木次線	出雲横田	12:00頃
	出雲三成	12:30頃●
	木次	13:15頃
山陰本線	穴道	14:00頃
	玉造温泉	14:15頃
	松江	14:45頃●
	安来	15:15頃
	米子	15:30頃

※● 10分程度の停車を予定
 ※時刻は変更となる場合があります



3. 各種補助制度のご紹介

次へのつぎ、木次線。

RAIL is BATON.

【県内事業者の皆さまへ】

JR木次線利用旅行商品販売促進補助金（注：R5年度の概要）

事業名称	JR木次線利用旅行商品販売促進補助事業
実施主体	木次線利活用推進協議会
事業概要	県内旅行業者が行う、JR木次線を活用した県内発地のツアー造成・販売や宣伝活動等による観光客誘致に対し補助を行う。 <送客目標総数>：1,800人／年間
対象経費 条件等	木次線を活用したツアー造成・販売にかかる経費 ※県内発地のツアーに限る ※普通列車の乗車区間は2区間以上とする ※トロッコ列車の乗車は対象外とする <div style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block; margin-left: 20px;">【R6に向けて検討中】 ※普通列車の乗車区間は3区間以上とする ※あめつちの乗車も対象とする</div>
予算額	9,000,000円
助成内容	旅行事業者が催行する旅行商品の利用者1人当たりの代金合計額の2分の1以内を補助する。 【補助金上限額】 5,000円／人

【県外事業者の皆さまへ】

JR木次線利用旅行商品販売促進補助金（注：R5年度の概要）

事業名称	木次線利活用推進 県外誘客旅行商品販売促進事業
実施主体	木次線利活用推進協議会
事業概要	県外からの誘客を目的として、県外旅行業者が行う、JR木次線を活用したツアー造成・販売や宣伝活動等による観光客誘致に対し委託を行う。 <送客目標総数>：2,400人／年間
対象経費 条件等	木次線を活用したツアー造成・販売にかかる経費 ※県外発地のツアーに限る ※普通列車の乗車区間は2区間以上とする ※トロッコ列車の乗車は対象外とする 委託事業者については、企画提案募集(プロポーザル)により決定する
予算額	12,000,000円
助成内容	募集旅行を企画する旅行事業者への業務委託。 【算定基準】 最大5,000円／人(旅行商品の割引・土産品)

【R6に向けて検討中】

- ※普通列車の乗車区間は3区間以上とする
- ※あめつちの乗車も対象とする

 お問い合わせ

木次線利活用推進協議会 (事務局:雲南市観光振興課)

TEL 0854-40-1054

FAX 0854-40-1059

mail kankoushinkou@city.unnan.shimane.jp

次へのびろ、木次線。

RAIL is BATON.

木次線で
お待ちしております

